

水稻の病害虫対策（トビイロウンカ・紋枯病）

トビイロウンカとは

- ・日本では越冬できず、主に6～7月の梅雨期に下層ジェット気流に乗って中国大陸南西部から成虫が飛来する。
- ・水稻で増殖し、**雌の短翅型成虫**が多くなると**急激に増える**。

トビイロウンカの発生パターン

1世代のサイクル：約30日間

卵期：7日間 幼虫期：14日間

海外から成虫飛来



第1世代幼虫



第2世代幼虫

坪枯れ



↑*防除タイミングのイメージ

*ウンカ類の飛来状況は地域により異なります。
防除タイミングは県の注意報等を参考にしてください。

6月 移植 | 7月 分けつ期 | 8月 出穂 | 9月 | 10月 収穫

カメムシ・ウンカ対策 薬剤例

*剤型により使用時期が異なります。
使用前にラベルの一読をお願いします。

農薬名	剤型			使用時期 (収穫前日数)	WCS 飼料用米
	液体製剤	粉	粒・豆粒		
スタークル剤	○	○	○	収穫7日前まで	○
エクシード剤	○	○	—	収穫7日前まで	○
トレボン剤	○	○	—	収穫7～14日前まで*	○

紋枯病について

- ・糸状菌の一種。高温・多湿条件で多発。
- ・前年、紋枯病の発生があった圃場では要注意。

イネ紋枯病の生活史



防除体系のイメージ

苗箱施薬剤による水平進展の抑制 → 本田防除で垂直進展を抑制

紋枯病対策 薬剤例

農薬名	使用適期	WCS	飼料用米
バリダシン液剤5	穂ばらみ期	×	○*

*出穂前まで

※**特別栽培米**については本チラシ掲載の薬剤を使用できない場合がございます。

ご使用の際は地区の暦を確認頂くか、農協職員までお尋ねください。

※薬剤例は一部のため、殺虫殺菌混合剤等については購買店舗までお問合せ下さい。